

私たちは、人道・博愛の赤十字精神のもとに、子どもたちの最善の利益を守り、健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった保育看護を提供します。

よちよちちゃん

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760
FAX 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

～ 平成20年度スローガン 『創造しよう』 ～

本院に対しましては、日頃からご支援ご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本院は今年の2月から3月にわたって「福祉サービス第三者評価」を受審いたしました。

これは、地域社会の中で本院の位置づけがどのようになっているか、質の高い養育や利用しやすい施設の運営サービスが提供されているかなどについて第三者機関から評価してもらおうというものです。また、このことは本院にとっても日常の業務内容を客観的に自己評価するよい機会となりました。

全部で74項目の内容について3名の調査員から調査を受けましたが、この度その評価結果が報告されました。

結果は、おおむね優れているとの評価をいただき、職員一同喜んでおります。

なお、この評価結果は、近日中に秋田県社会福祉協議会や本院のホームページでご覧いただくことができます。

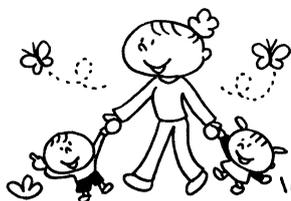
本院の今年のスローガンは“創造しよう”です。

日々の暮らしにおいて、より良い生活を創造しようとする心がけがとても大切なことですが、これは仕事においても同じことでもあります。

これからも、利用者や地域の皆様に質の高いサービスの提供に向け、弛まぬ努力をいたしますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

院長 佐藤 正





……心をつなぐ……

“愛してる”を伝えたい ～Aちゃんの旅立ち～

子どもは、初めて行く児童養護施設で見知らぬ場所と人の中でとてつもなく大きな不安を抱えます。どんなに泣き叫んでも今までそばにいてくれた保育者は、目の前から去っていきます。寂しさと不安、そして、自分ではどうすることもできない無力感・絶望感を抱く子どももいるといいます。また、保育者も今まで築いた信頼関係を裏切ったような罪悪感と喪失感、いつまでも消えない心配を抱えていました。



Aちゃんの 施設訪問

とても人見知りの強いAちゃんは、養護施設へ訪問してから施設変更することになりました。2回の施設訪問で人見知りが少しずつ解消されて行きお友達と遊んだり、食卓についたり出来るようになったAちゃんの姿を目の当たりにして改めて体験や経験の重要性を感じました。



そして、 別れの日

養護施設の保育士に人見知りせず会い、泣かずに別れることが出来ました。それでも、保育者の姿が見えなくなると泣き出したそうです。

1週間後、養護施設から、お話が少ないことや他児にお世話されると固まるなどまだ緊張がみられるけれども、睡眠、食事、入浴、遊びなど生活に慣れてきているとの報告があり安心しました。

2回の訪問は時間が限られたものでしたが、Aちゃんには、大きな安心感となり、養護施設での新しい生活を歩みだす力となったと思います。

また、保育者も、保育士同士顔を合わせ情報交換ができ、子どもの先行きを案じながらも、以前よりは罪悪感や喪失感が軽減され、安心して引継ぐことが出来ました。必ず訪れる別れの時、施設訪問で子どもの不安を軽減できるようにしたいものです。



昨年より、施設交流会も行われ、双方の情報交換や、保育者同士あるいは子ども同士、保育者と子どもの親交が深められています。乳児院を退所した養護施設の子どもたちと再会し、小さかった頃のはなしをして、一緒にうれしい時間を過ごします。

成長した子どもたちが、幼いとき自分がどんな生活をしてきたのか不安になったりしないよう、記憶の連続性を大切にしています。

子どもを養育するという同じ目的を持った施設がお互いに交流を持つことで、子どもの安定した育ちを保証するため、心をつなぐ取り組みを今後も行っていきたいと思っています。



子育て支援事業

子育てサークル『愛あいクラブ』

平成17年から開始した「愛あいクラブ」も今年で3年目になります。昨年度は、4月から12月までの開催で61組の親子の参加がありました。

家庭ではなかなか体験できない大型プールでの水遊びや、親子であつあつホットケーキ作り、クリスマス会では、サンタさんからプレゼントがあります。

毎月身体測定を行い、月齢に合わせた成長発達・離乳食の相談にも対応しています。子どもの成長を実感でき、お母さん達の憩いの場にもなっているようです。参加者のかなと君のママは「いつも、楽しく参加しています。」と心待ちにしてくれています。

今後も親子でリフレッシュして楽しくすごしてもらえようなプログラム用意して活動していきます。



絵本の読み聞かせをしています

《 活動内容 》

6月5日(木) ホットケーキ作り

7月3日(木) 七夕

8月7日(木) 水遊び

9月4日(木) 十五夜

※申し込みは、前月15日から乳児院まで



院外保育

ソウさんみたよ

大森山動物園～ミルヴェ～

春、恒例の院外保育は、天候に恵まれ楽しい時間を過ごすことができました。絵本や映像では味わうことができない迫力に子どもたちの表情は、七変化。赤ちゃんラッシュの動物園でしたが、中でも可愛かったのがチンパンジーをはじめとした猿の仲間たちです。やんちゃなチンパンジーの真似をして、柵にぶらんと下がったり、お母さん猿にくっついておっぱいを飲む子猿をじーっと見つめて「かわいいね。」という姿もみられました。

当院では、子どもたちの身の回り品を個別化するのに子どもたちにもわかりやすいように動物のマークで区別しています。今回の院外保育の目的のひとつが、マークの動物を実際に見ること。自分のマークの動物を見つけてみんな大喜びでした。ペンギンマークのRくんは、水槽を泳ぐペンギンと一緒に左右に走り回るほどで、[Rのペンギン!!]と保育者に教えてくれました。

今年度は、児童会館やアルヴェの子ども未来センター、夏は海水浴など院外保育が予定されています。

さまざまな事象に触れ、経験することで心豊かに健やかに成長することが、私たちの願いです。



「おーい、ぞうさん！」

「おおきいね」

ぱくぱく食育ぷらざ

♪♪ 口ずさんでいます ♪♪

食べ物の役割を替え歌にして、食事を待つ間、おやつの前など、養育者が歌ってくれるのを自然に覚えたようです。幼児期から食べ物と健康の関係を知る基礎になればと思います。

三色の歌 (チューリップ)

たべよう たべよう
きいろのグループ
ごはんに いも さとう
マカロニ マヨネーズ
まいにちたべれば
げんきひやくばいだ

たべよう かもう
みどりのグループ
にんじん りんご
やさいやくだもの
いっぱいたべれば
うんちがもりもりだ

たべよう のもう
あかのグループ
ぎゅうにゅう にく さかな
わかめにだいずくん
ちゃんとたべれば
ほねぶときんにくまん



卵焼きを作っています

グリーンだより

乳児院のかわいい畑ができました。雑草を抜いて、硬くなった土を耕し、ムネ作りをしている時、お向かいの方が「これ使ってちょうだい」と肥料を分けてくださり、栄養満点の畑になりました。トマトやナス、キュウリなどいろいろな苗を植えました。子どもたちにとっては、まだどの苗も「葉っぱ」……野菜たちの成長と子どもたちの顔が楽しみです。



「秋田市保健所主催 研修会より」



職員の鍬さばきを見守る子どもたち

トピックス

4月15日、西ロータリーの方々10名が来院し、木製のプランターに色とりどりの花々を植えてくれました。ビオラ、ペチュニア、スノーポールなど小さかった株も、暖かい日差しと共にこんもりと成長し、院の玄関先はとても華やかです。



作業中の西ロータリーのみなさん

編集後記

水田の苗や木々の新芽がぐんぐん伸びてくるのを、目に見えて感じられる季節ですね。ページ数を増やし「よちよちちゃん」はリニューアルしました。院内の様子、子育て支援の情報など、みなさまに提供していきたいと思っております。乳児院を身近に感じていただければうれしいです。